

経済研究の基礎 2011 年度

国際経済 課題2

岩村 英之

出題日 2011 年 10 月 25 日

講義で扱った数値例について、貿易をしない場合の外国における米の相対価格が 0.5 となることを説明しなさい。

ヒント・注意

- まず、相対価格が (1)0.5 より大きい場合、(2)0.5 より小さい場合、(3)0.5 に等しい場合の 3 つに分け、それぞれプリント中の図 3 と同じものを作成する。
- その上で、水田と工場どちらで働くほうが得かを判断し、人々がどちらに集中するかを明らかにする。
- 結果として、相対価格がどのように動くかを説明し、0.5 に落ち着くことを示せばよい。
- 図の部分は手書きでもよい。

提出

- MS Word 等のワープロソフトで作成の上、A4 用紙に印刷すること。
- 表紙は不要です。1 ページ目の最上段に学籍番号と氏名を明記してください。
- 11 月 9 日の講義後に提出してください（当日は田先生の「ミクロ経済学」ですが、講義後に回収に行きます）。